

◆科目名Course Title			
歴史の視座（戦後北海道経済史の探究）			
◆授業担当教員Instructor			
白木沢 旭児			
◆開講学期Semester	前期	◆対象学年Year	1年～
◆履修可能人数Capacity	遠隔	◆単位数Number of Credits	2
	オンライン 各大学30人	◆授業形態Type of Class	講義
	オンデマンド		
	対面		

◆キーワードKey Words	
戦後, 北海道, 経済史	
◆授業の目的Course Objectives	
◆授業概要Course Description	
戦後の北海道経済の歩みを歴史的に跡付けるとともに、それぞれの時期における課題を考える。戦後の北海道では、石炭産業、北洋漁業などの盛衰を経験し農業も国際環境の変化により変貌している。経済史を学ぶとともに、今後の展望についても考察する。	
◆到達目標Course Goals	
北海道の近現代史について正しく理解し、資料を用いて自分自身の力でレポートを書くことができる。日本の戦後史を正しく理解したうえで、北海道固有の条件を叙述することができる。地方経済史の研究方法を身につけ、北海道以外の都市や地域について分析することができる。	
◆授業計画Course Schedule	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 戦時経済下の北海道 2. 終戦直後の北海道 3. 北海道における戦後改革 4. 北海道総合開発計画の開始 5. 石炭産業の復興 6. 北洋漁業の再開と再編 7. 苫小牧港の開発 8. 物流における「札幌一極集中」の開始 9. 十勝農業史 10. 産炭地域振興事業 11. 苫東開発の破綻 12. バブル崩壊と北海道 13. なぜ小樽は衰退したのか 14. 21世紀の北海道経済 15. まとめ 	

❖成績評価Grading System
本講義の内容を理解するためには毎回の出席が必要である。その上で期末レポートを課す。期末レポートは、問題意識の明確さ、文献調査・読解能力、文章表現力などを総合的に評価して行う。期末レポートにより学期末の成績評価を行う。
❖テキストTextbooks
❖参考書Reading List
❖準備学習Homework
毎回資料プリントを配布するので、授業時に読めなかった部分は持ち帰って読んでおくこと。それぞれの資料には出典が明記されているので、予習・復習に活用されたい。
❖オフィスアワーOffice Hour
❖連絡先E-mail
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information
学期中全ての授業をオンラインのみで実施する。